

令和7年第2回定例会まちづくり常任委員会議事録

令和7年6月19日(木)

開会（9:55）

○増子達也委員長

開会宣言。出席委員が8名で定足数に達し、会議が成立した旨、宣言。

当委員会に審査を付託された議案は、補正予算5件、条例の一部を改正する条例2件の計7件である。

議案の審査に入る前に、高橋副市長よりあいさつ願いたい。

○高橋副市長

おはようございます。最近、近隣の新発田市、阿賀野市等で市街地での熊の目撃情報が頻発している。当市でも先月のゴールデンウィーク辺りに西栄町、北本町、大川町でも目撃があった。先日も、高畑地区でちょっと大きめの熊も見られ、足跡が発見されている。先月、中心市街地で人への被害が想定されるため、3回に渡り大規模な捜索を行った。その時に感じたのは、熊が隠れようと思えば市街地でも隠れる場所が沢山あるというのをつくづく思った。空き家や古い家屋の縁の下、それから草藪等の手入れが行き届いてない場所などが非常に多くあり、隠れようと思えばどこでも隠れられるというのが率直に感じたところである。クマの被害を少なくするためにも、空き家対策、それから一般住宅においても草刈等を徹底するなどして、できるだけ人的被害のないようやっていければと考えている。

本日の案件は7件となっているがよろしく審議願いたい。

議第49号 令和7年度胎内市地域産業振興事業特別会計補正予算（第1号）

佐藤農林水産課長説明

歳入歳出の予算の総額に歳入歳出それぞれ3,780万円を追加し、総額を2億6,610万円とするもの。歳出では、第1款農林水産業費、第1項第1目農産物加工施設運営費、第12節委託料で、資材等の高騰により販売価格を引き上げたい旨の胎内高原ハウス株式会社からの申し入れがあったことから、引き上げ分を含んだ委託料2,400万円を増額し、第14節工事請負費で、製造設備の殺菌機及び容器に水やお茶などを注入する自動充填機、キャッパーのそれぞれ更新、改修を要する工事費として1,380万円を増額した。歳入では、第1款事業収入、第1項第1目農産物加工事業収入で、一本当たり約10円の値上げを見込んだ販売収入2,400万円を増額し、第7款第1項第1目農業債は、製造設備に係るもので、第2表地方債

の補正については、製造設備の更新のため地方債を起こすものである。

質疑

無し

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

議第50号 令和7年度胎内市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

西村上下水道課長説明

収益的収入に83万7000円を追加し、総額を11億4,638万4千円とし、収益的収支支出に117万6千円を追加し、総額を9億2,265万9千円とするもの。第2条収益的収入及び支出の補正では、収益収入の部に、地方公営企業繰出基準に基づく一般会計の補助金を増額した。収益的支出の部で、人事異動に伴い給与費を増額した。

質疑

無し

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

議第51号 令和7年度胎内市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）

西村上下水道課長説明

収益的収入に11万円を追加し、総額を6億9,109万4千円とし、収益的支出に1,881万円を追加し、総額を6億1,426万1千円とするとともに、資本的収入に42万円を追加し、総額を3億8,918万円とするもの。第2条収益的収入及び支出の補正では、収益的収入の部で、地方公営企業繰出基準に基づく一般会計の補助金を増額した。収益的支出の部では、施設の更新について、国費の採択要件の変更に伴い、今年度中に維持適正化計画を策定することから、委託料を増額した。第3条資本的収入の補正で、資本的収入の部では、辺地対策事業債の償還額確定に伴い、一般会計の補助金を増額した。

質疑

○天木義人委員

委託料で国の採択要件の変更に伴うとあるが、どのような変更があったか。

○西村上下水道課長

昨年度の予算の策定時点では、維持適正化計画が来年度以降の補助金の対象に当てはまるかわからない状態であった。今年度に入り、来年度以降に国の補助金の対象となるためには、維持適正化計画を策定することから、今年度に維持適正化計画を策定し、来年度以降に国の補助金の対象となるためのものである。

○天木義人委員

維持適正化計画では、どのような工事を想定するか。

○西村上下水道課長

古くなったマンホールポンプ、農業集落排水処理場の電気設備の更新工事など、設備の適正化を図る予定としている。

○天木義人委員

設備の耐用年数は、どのぐらい経って工事をやらないと不具合が生じるのか。

○西村上下水道課長

電気設備、ポンプに関しては15年や20年であるが、下水道は毎日稼働しており、施設が全部壊れてしまうことはできないので、壊れる前に計画に基づいて順次更新している。

○丸山孝博委員

委託料1,800万円という額は客観的にどうなのか。どういう積算根拠があるのか。

○西村上下水道課長

事業自体は更新を進めていくと、各年度別で2億から3億円程度を予定しており、それに対しての委託料1,800万円である。何社か見積を徴収し、積算根拠に基づいて積算したものであり、適正なものと考えている。

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

議第52号 令和7年度胎内市水道事業会計補正予算（第1号）

西村上下水道課長説明

収益的収入から11万2千円を減額し、総額を6億8,103万円とし、収益的支出に64万7千円を追加し、総額を6億2,951万7千円とするとともに、資本的支出から10万2千円を減額し、総額を8億5,760万4千円とするもの。第2条収益的収入及び支出の補正について、収益収入の部、地方公営企業繰出基準に基づく一般会計の補助金を減額する。収益的支出の部では、人事異動に伴い、給与費及び退職手当組合費を増額するものである。第3条資本的支出の補正では、資本的支出の部について、人事異動に伴う手当等を減額するものである。

質疑

無し

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

議第53号 令和7年度胎内市簡易水道事業会計補正予算（第1号）

西村上下水道課長説明

収益的収入に 11 万 2 千円を追加し、総額を 2 億 1,856 万 2 千円とし、収益的支出に 44 万 3 千円を追加し、総額を 2 億 247 万 2 千円とするもの。第 2 条収益的収入及び支出の補正では、収益的収入の部で、地方公営企業繰出基準に基づいて一般会計の補助金を増額した。収益的支出の部で、人事異動に伴い給与費及び法定福利費を増額した。

質疑

無し

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

議第 57 号 胎内市 水道法施行条例の一部を改正する条例

西村上下水道課長説明

水道法等の改正により、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件が緩和されたことに伴い、関連する規定を改めるものである。

質疑

○渡辺秀敏委員

水道法の改正により要件がだいぶ緩和されているが、その理由は。

○西村上下水道課長

緩和の理由として、団塊の世代等の退職等による人員不足に伴い、経験年数等の期間が半分程になっている。

○渡辺秀敏委員

人員不足はやむを得ないと思うが、資格を緩和して経験年数も短くなり、その状態で水道事業そのものの安全性の確保は問題ないか。

○西村上下水道課長

今回の規制緩和により、それぞれの年限が短くなったが、布設工事監督者と水道技術管理者については、当市においては、緩和される以前の要件を満たしている者が複数名おり、少なくとも市の水道事業に関しては、何か不具合が生じるとか、水道の安全が脅かされるようなことはないと考えている。

○天木義人委員

この改正による市へのメリットはどのようなことか。

○西村上下水道課長

布設工事監督者と水道技術管理者は必ず置く必要があるが、その育成に係る年限が短くなるため、その意味では今後メリットはあると思う。

○天木義人委員

その者は市では何人か。

○西村上下水道課長

現在、上下水道課に2名在籍し、上下水道課以外に資格を持つ者は1名である。

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

議第58号 胎内市索道条例の一部を改正する条例

増子商工観光課長説明

近年、スキー場来場者が購入するリフト券が1日券から4時間券へ移行していることから、施設の経営安定化を図るため、購入割合が増えている4時間券の金額を500円引き上げるものである。1日券と4時間券の割合だが、令和6年のシーズンの割合は4時間券が75%、1日券が25%となっている。令和5年のシーズンは少雪であったため、令和4年のシーズンと比較すると、4時間券が63%、1日券が37%であり、約12%、4時間券が増えている状況である。

質疑

○森本将司委員

今回の値上げ理由が、4時間券の購入者が増えていることであるが、今回の500円値上げによりどの程度、収益が増えるの見込んでいるか。

○増子商工観光課長

1日券の購入者の約10%が4時間券に回るのではないかと。4時間券の500円増に伴い、総額で560万円程度増額を見込んでいる。

○森本将司委員

値上げをすれば購入者は一般的には減ると思うが、今回4時間券だけ値上げしたことで1日券との差が大分詰まると思う。4時間券だけ上げたのはどういう考えか。人が増えたこと

によるのか、意図があるのか。

○増子商工観光課長

昨シーズンは1日券を値上げした。令和5年のシーズンが小雪で、全てのリフト券を値上げしたらどうかという話もあったが、シーズン券は2年分、6年のシーズンも継続して使えるという状況で、1日券の値上げに留めたこともあり、その差が今回出てきた。

自由討議

無し

採決

全員異議なく、可決すべきと決定。

(執行部退席 10:22)

以上でまちづくり常任委員会を閉会する。

閉会 (10:22)